

# 「市民100万本植樹運動」累計植樹本数100万本達成



▲平成22年度



▲平成22年度



▲平成26年度



▲平成27年度



▲平成28年度



▲令和2年度



▲令和3年度

| 年度     | 植樹祭会場                     | 植樹本数<br>(3月末時点) |
|--------|---------------------------|-----------------|
| 平成22年度 | 生田緑地もみじ谷(多摩区)             | 96,943本         |
| 平成23年度 | 黒川よこみね特別緑地保全地区(麻生区)       | 152,594本        |
| 平成24年度 | 久末城法谷緑の保全地域(高津区)          | 314,786本        |
| 平成25年度 | 菅生ヶ丘特別緑地保全地区(宮前区)         | 476,871本        |
| 平成26年度 | 生田緑地西口園路(多摩区・県と共同開催)      | 612,072本        |
| 平成27年度 | 黒川海道特別緑地保全地区(麻生区)         | 798,720本        |
| 平成28年度 | 御幸公園(幸区・梅香事業と連携して開催)      | 809,537本        |
| 平成29年度 | 鷺沼公園(宮前区)                 | 872,819本        |
| 平成30年度 | 殿町第2公園(川崎市)               | 949,066本        |
| 令和元年度  | 川崎市中原平和公園(中原区)            | 1,038,458本      |
| 令和2年度  | 夢見ヶ崎公園(幸区・100万本植樹達成記念と合同) | 1,105,438本      |
| 令和3年度  | 橘公園(高津区)                  | 1,162,976本      |

ヒートアイランド現象の緩和や都市景観の向上等に向けて、平成17年度に「市民による10万本植樹」を提案し、年1万本の10年計画で市民、事業者、行政が協力し植樹を実施してきました。

平成22年度、全国植樹祭が神奈川県で開催され、生田緑地がサテライト会場となったことを契機として、これまでの10万本植樹から、市制施行100周年にあたる令和6年までに、市民・事業者・行政の協働により、市域に100万本の植樹を目指す「市民100万本植樹運動」をスタートし、この取組の一環として毎年10月の都市緑化月間に植樹祭を開催しています。

市民や事業者の皆様の御協力により、令和元年12月には累計植樹本数が目標の100万本に到達したことから、翌令和2年10月に幸区の夢見ヶ崎公園にて「市民100万本植樹運動達成記念及び市民150万本植樹運動植樹祭」を開催し、現在は、令和6年までに150万本の植樹を目指し、取組を継続しており、累計の植樹本数は令和4年3月時点で1,162,976本となっています。

これまでの川崎市が歩んできたみどりの歴史を、次の100年へとつなぐ

## 令和6(2024)年度 秋・春 全国都市緑化かわさきフェア 開催!

全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として開催するもので、全国各地で巡回して開催されています。

本市では、市制100周年の節目を迎える令和6(2024)年度に、全国都市緑化フェアの開催を目指して誘致に取り組み、令和4(2022)年1月に国土交通大臣の同意を得て開催が決定しました。

かわさきフェアは、市制100周年の象徴的事業として、本市のこれまでの歴史や資源、強みなどを振り返り、次の100年に向けて、みどりについて皆さんと一緒に考え行動することで、誰もが暮らしやすく住み続けたいまちへとつなげていくために開催します。

市内の三大公園である富士見公園、等々力緑地、生田緑地を中心に、駅周辺や商業施設、区役所など市内全域を会場として、市民、地域の団体、企業等の皆さんと一緒に、川崎らしい都市の中のみどりの価値を全国に発信します。



### 第41回 全国都市緑化かわさきフェア開催概要

|         |                                                                                                                                                         |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主催者     | 主催者:川崎市、公益財団法人都市緑化機構 実施主体:川崎市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会                                                                                              |
| 開催期間    | 【秋】令和6年10月19日(土)～11月17日(日) 【春】令和7年3月22日(土)～4月13日(日)                                                                                                     |
| 会場      | コア会場:富士見公園、等々力緑地、生田緑地 協賛・連携会場等:駅、商業施設、民有空地、区役所、公園緑地 など                                                                                                  |
| 統一主題    | 「みどりで、つなげる。みんなが、つながる」                                                                                                                                   |
| 愛称      | 「Green For All KAWASAKI 2024」                                                                                                                           |
| シンボルマーク | 「Colors,Future! Actions」の取組の一つである「Green For All」を表現するため、みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見立てて表現。 |

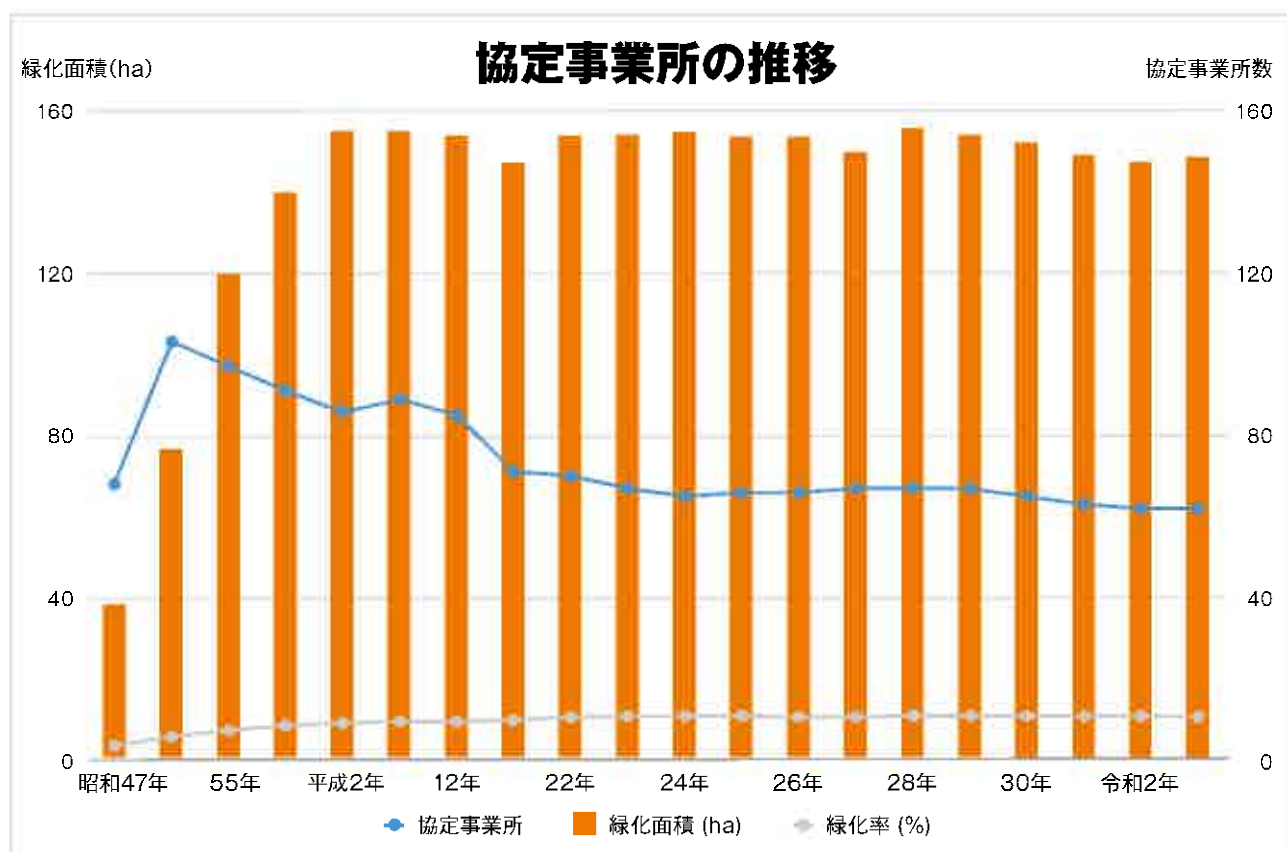


かわさきフェアをきっかけに、私たちの日常の暮らしの中にみどりが溶け込み、みどりを通して、  
人と人、人と暮らしが緩やかにつながり、心豊かな暮らしを生み出していきます。

## 協定事業所の緑化率の推移(昭和47年度～令和3年度)

### 協定事業所の緑化率の推移(昭和47年度～令和3年度)

|       | 協定事業所 | 緑化面積(ha) | 緑化率(%) | 敷地面積(ha) |
|-------|-------|----------|--------|----------|
| 昭和47年 | 68    | 38.35    | 3.55   | 1,081    |
| 50年   | 103   | 76.82    | 5.83   | 1,317    |
| 55年   | 97    | 120.09   | 7.42   | 1,619    |
| 60年   | 91    | 139.97   | 8.51   | 1,645    |
| 平成2年  | 86    | 155.15   | 9.31   | 1,666    |
| 7年    | 89    | 154.85   | 9.49   | 1,631    |
| 12年   | 85    | 154.00   | 9.67   | 1,592    |
| 17年   | 71    | 147.11   | 9.98   | 1,474    |
| 22年   | 70    | 153.80   | 10.54  | 1,459    |
| 23年   | 66    | 153.97   | 10.72  | 1,436    |
| 24年   | 65    | 154.90   | 10.80  | 1,434    |
| 25年   | 66    | 153.64   | 10.82  | 1,420    |
| 26年   | 66    | 152.78   | 10.74  | 1,423    |
| 27年   | 67    | 149.81   | 10.51  | 1,426    |
| 28年   | 67    | 155.76   | 10.92  | 1,426    |
| 29年   | 67    | 153.88   | 10.79  | 1,426    |
| 30年   | 65    | 151.94   | 11.02  | 1,379    |
| 31年   | 63    | 149.11   | 10.87  | 1,372    |
| 令和2年  | 62    | 147.27   | 10.76  | 1,369    |
| 3年    | 62    | 148.40   | 10.68  | 1,389    |



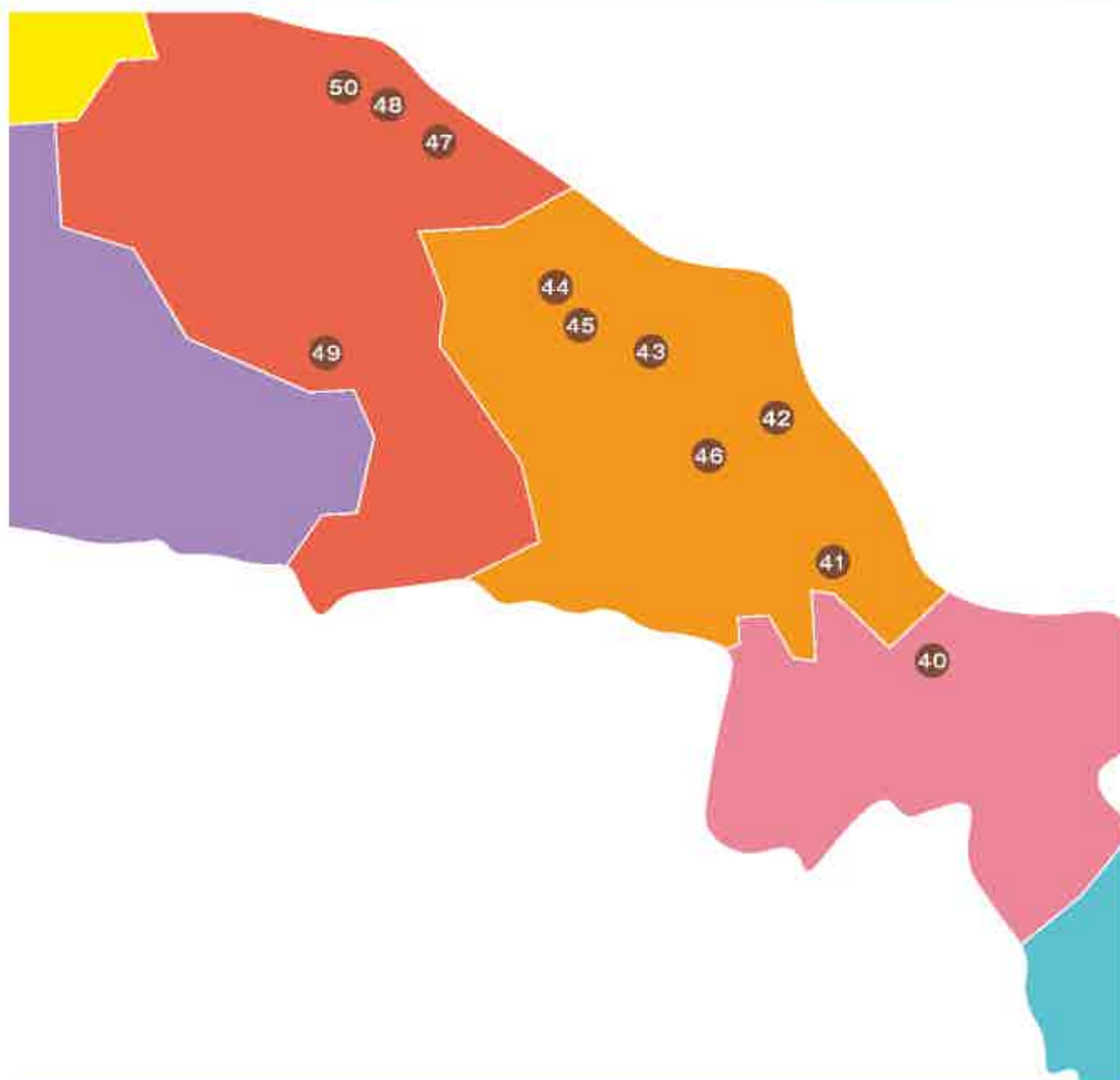


## 会員事業所マップ(川崎区)



- |                               |                             |
|-------------------------------|-----------------------------|
| ① 旭化成株式会社製造統括本部川崎製造所          | ②① 太陽日酸株式会社京浜事業所            |
| ② 旭化成株式会社製造統括本部川崎製造所アクリル樹脂製造部 | ②② 株式会社日本触媒川崎製造所            |
| ③ 味の素株式会社川崎事業所                | ②③ 日本ゼオン株式会社川崎工場            |
| ④ JFEスチール株式会社東日本製鉄所(京浜地区)     | ②④ 日本冶金工業株式会社川崎製造所          |
| ⑤ 花王株式会社川崎工場                  | ②⑤ 日油株式会社川崎事業所              |
| ⑥ 川崎オキシトン株式会社川崎工場             | ②⑥ 株式会社ENEOS NUC川崎工業所       |
| ⑦ 東亜合成株式会社川崎工場                | ②⑦ 富士電機株式会社川崎工場             |
| ⑧ JFEコンテナ株式会社川崎工場             | ②⑧ ENEOS株式会社川崎事業所           |
| ⑨ 味の素ファインテクノ株式会社              | ②⑨ 東亜建設工業株式会社白石事務所          |
| ⑩ 株式会社レゾナック基礎化学品事業部川崎事業所      | ③⑩ 日本乳化剤株式会社川崎工場            |
| ⑪ 新日本理化学株式会社川崎工場              | ③⑪ 株式会社レゾナック・ガスプロダクツ        |
| ⑫ セントラル硝子株式会社川崎工場             | ③⑫ 三協興産株式会社                 |
| ⑬ 株式会社デイ・シイ川崎工場               | ③⑬ 東日本旅客鉄道株式会社エネルギー企画部川崎発電所 |
| ⑭ 大同特殊鋼株式会社川崎テクノセンター          | ③⑭ 三菱ケミカル物流株式会社陸運事業本部川崎油槽所  |
| ⑮ 東亜石油株式会社京浜製油所               | ③⑮ ペットリファインテクノロジー株式会社       |
| ⑯ 東芝エネルギーシステムズ株式会社浜川崎工場       | ③⑯ 川崎天然ガス発電株式会社川崎天然ガス発電所    |
| ⑰ ENEOS株式会社川崎製油所              | ③⑰ エリーパワー株式会社川崎事業所          |
| ⑱ メビウスパッケージング株式会社川崎工場         | ③⑱ 第一高周波工業株式会社京浜製造所・水江      |
| ⑲ 日本合成アルコール株式会社川崎工場           | ③⑲ グッドマンジャパン株式会社グッドマン水江     |
| ⑳ 日本合成樹脂株式会社                  |                             |

## 会員事業所マップ(幸区・中原区・高津区)



### 幸区

- ④① 株式会社東芝小向事業所

### 中原区

- ④① 三菱ふそうトラック・バス株式会社
- ④② 帝国通信工業株式会社
- ④③ 日本電気株式会社玉川事業場
- ④④ 富士通株式会社川崎工場
- ④⑤ サントリーホールディングス株式会社サントリー商品開発センター
- ④⑥ 株式会社朝日プリンテック川崎工場

### 高津区

- ④⑦ あゆみ製薬株式会社多摩川工場
- ④⑧ NECプラットフォームズ株式会社
- ④⑨ 株式会社富士通ゼネラル
- ⑤① 株式会社日経東京製作センター 川崎工場

## 会員事業所の緑の風景(会員事業所マップNo.順)

①旭化成株式会社製造統括本部川崎製造所



③味の素株式会社川崎事業所



④JFEスチール株式会社東日本製鉄所  
(京浜地区)



⑤花王株式会社 川崎工場



⑥川崎オキシトン株式会社川崎工場



⑩株式会社レゾナック基礎化学品事業部  
川崎事業所



⑫セントラル硝子株式会社川崎工場



⑭大同特殊鋼株式会社川崎テクノセンター



⑰ENEOS株式会社川崎製油所



⑱メビウスパッケージング株式会社川崎工場



⑲日本合成アルコール株式会社川崎工場



⑳大陽日酸株式会社京浜事業所





## 会員事業所の緑の風景(会員事業所マップNo.順)

②③ 日本ゼオン株式会社川崎工場



②④ 日本冶金工業株式会社川崎製造所



②⑤ 株式会社ENEOS NUC川崎工業所



②⑦ 富士電機株式会社川崎工場



②⑨ 東亜建設工業株式会社白石事務所



③① 株式会社レゾナック・ガスプロダクツ



③③ 東日本旅客鉄道株式会社エネルギー企画部  
川崎発電所



③④ 三菱ケミカル物流株式会社陸運事業本部  
川崎油槽所



③⑤ ペットリファインテクノロジー株式会社



③⑥ 川崎天然ガス発電株式会社  
川崎天然ガス発電所



③⑦ エリーパワー株式会社川崎事業所



③⑧ 第一高周波工業株式会社京浜製造所・水江



③⑨ グッドマンジャパン株式会社 グッドマン水江



④① 株式会社東芝小向事業所



④① 三菱ふそうトラック・バス株式会社



## 会員事業所の緑の風景(会員事業所マップNo.順)

④② 帝国通信工業株式会社



④③ 日本電気株式会社玉川事業場



④④ 富士通株式会社川崎工場



④⑤ サントリーホールディングス株式会社  
サントリー商品開発センター



④⑥ 株式会社朝日プリンテック川崎工場



④⑦ あゆみ製薬株式会社多摩川工場



④⑧ NECプラットフォームズ株式会社



④⑨ 株式会社富士通ゼネラル



② 旭化成株式会社製造統括本部川崎製造所  
アクリル樹脂製造部

⑦ 東亜合成株式会社川崎工場

⑧ JFEコンテイナー株式会社川崎工場

⑨ 味の素ファインテクノ株式会社

⑪ 新日本理化株式会社川崎工場

⑬ 株式会社デイ・シイ川崎工場

⑮ 東亜石油株式会社京浜製油所

⑮ 東芝エネルギーシステムズ株式会社  
浜川崎工場

⑳ 日本合成樹脂株式会社

㉒ 株式会社日本触媒川崎製造所

㉔ 日油株式会社川崎事業所

㉔ ENEOS株式会社川崎事業所

㉔ 日本乳化剤株式会社川崎工場

㉔ 三協興産株式会社

㉔ 株式会社日経東京製作センター川崎工場



## 株式会社朝日プリンテック川崎工場

**所在地** 川崎市中原区西加瀬19-1

**操業開始** 1997年8月に株式会社朝日川崎プリンテックとして創業。  
2010年4月から株式会社朝日プリンテック川崎工場となりました。

**工場の特徴** 川崎工場は、朝日新聞の印刷工場の中でも最大規模の工場です。朝日新聞、東京新聞、朝日学生新聞、朝日フロンターレ新聞など様々な媒体を印刷し、神奈川県内を中心に東京西南部や静岡県の一部にも発送しています。2010年度の国際カラー印刷コンテストで「世界第2位」を獲得、日本国内だけでなく国際的にも品質の高さが証明されました。

**従業員数** 約85名(障がい者雇用も含む)

**敷地面積** 15,524㎡ **緑地面積** 4,103㎡(緑化率:約26%)



### CSR活動

**工場見学** 社会科見学の定番コースとなっており、近隣の小学校をはじめ家族連れも含め、年間3,000人(コロナ禍前)が見学に来ます。

**職場体験** 近隣の中学校や養護学校の職業体験も受け入れています。

**地域活動** 町内会(西加瀬・北加瀬)の夏祭りや芋煮会などの行事にも参加させて頂いております。

**環境方針** 朝日プリンテック川崎工場は、朝日新聞グループ企業の一員として、より良き明日を願い、環境にやさしい印刷・梱包・配送事業をこころがけます。省エネルギー・省資源・廃棄物削減・緑地の充実等に取り組み、「環境に優しい工場」を目指し活動しています。屋上には471枚の太陽光発電パネルを設置し、工場の1.8%分の電力(一般家庭30世帯分に相当)を賄っています。

### 緑化の取組

敷地面積の約26%を緑化しており、工場内にはサクラ・クスノキ・モミジ等の様々な樹木が約5,000本植栽されています。春には県道尻手黒川線や生活道路に面して12本のソメイヨシノが咲き誇り、花見シーズンには住民の方に大変喜ばれています。工場の周りでは小鳥がさえずり、手作りのピオトープではカルガモの親子が水浴びする姿を見ることもありました。ピオトープの清掃活動では、従業員親子が泥だらけになりながら大いに盛り上がりました。正面玄関の花壇は、サポートスタッフが季節毎に植え替えています。パンジー(中原区の花)やマリーゴールドなどのかわいい花々が地域の方々の癒しとなっています。また地域の自然環境の保全に努める事を意識して「美しく住み良いふるさと川崎を目指して」という合言葉のもと、工場周辺の清掃活動を年2回実施しています。舗道の植え込みからはタバコの吸い殻、空カンや空ビン、ペットボトルなどが大量に出て来ます。時には毛布やトースターなどの生活用品が無造作に捨てられていることもありました。今後も身近な環境活動を続けることで、地域に貢献し環境にやさしい工場を目指します。



## 事業所の取組

# ENEOS株式会社川崎製油所

**事業所紹介** ENEOS川崎製油所は2017年にJXエネルギーと東燃ゼネラル石油が経営統合し誕生しました。東京湾の西岸に展開された川崎市の臨海部に位置し、およそ280万平方メートル、東京ドームおよそ61個分の広大な敷地で、石油・石油化学製品の精製・製造を一体で行っています。

大消費地である首都圏に近く、日本の空の玄関口、羽田空港に隣接し、陸上ならびに海上輸送の便に恵まれています。また、京浜臨海コンビナートに位置していることから、近隣企業への製品供給が可能である立地がこの製油所の優位性となっています。



**所在地** 川崎市川崎区浮島町7-1

**緑化率** 7.52% (2022年3月末現在)

**従業員数** 1,476名 (2023年1月末現在)

川崎製油所は企業市民として、地域に根ざした様々な地域貢献活動を積極的に行っています。

## 社会貢献活動

「ENEOS子どもフェスティバル」は、近隣のお子様・保護者の皆様をお招きして、移動水族館、釣り大会、消防車の展示・試乗などのアトラクションをお楽しみいただく、40年以上続く最大の地域行事です。命の大切さや自然環境を保護することの重要性を学ぶ場としても利用されています。



ENEOS子どもフェスティバル

## 緑化の取組

「ENEOSの森」は、地方自治体とパートナーシップを結び、未整備な森林の保全を支援する活動で、ENEOSグループ製油所所在地の近郊8か所に設置しています。NPO法人等の指導を受けながら、ENEOSグループの社員ボランティアが植樹や間伐、枝打ち作業、木工細工や自然観察などの森林保全活動を行っています。



ENEOSの森 森林保全活動



ENEOS川崎製油所屋上緑化



## 花王株式会社川崎工場

**所在地** 川崎市川崎区浮島町1番2号

**工場建設** 1962年(昭和37年)

**敷地面積** 100,993㎡

**緑地面積** 11,704㎡

**従業員数** 329名(2023年3月)

**生産品** ファブリック&ホームケア製品  
ヘルス&ビューティケア製品、業務製品



現在の西緑地

### 緑化変遷

1955年頃まで浮島町は海でしたが、1962年頃に埋立地となり、川崎工場が建設されました。その頃の緑地面積は約2%未満でしたが、2000年頃に隣地約1万坪を購入、掘削整地した時の残土を盛り上げ、場内に点在していた小緑地の集約や植樹などで約7千㎡のまとまった西緑地を造成しました。当時の工場長方針で15年以上にわたり人の手を加えず自然の状態にしてきたことで、高木・低木層、高茎草・低茎草が混在し、多様な植物が育つ「自然の森」を感じられるまでに成長しました。

また、都市の喧噪を忘れることのできる憩いの場としてのみならず、川崎市内陸部から臨海部にかけて生息する野鳥の生活場にもなっています。この西緑地により緑地面積も約12%に増え、2015年には川崎市環境功労者を受賞し、2018年にはABINC認証を取得し継続しています。

### 緑化の取組

剪定、伐採、刈込み、草刈り、清掃などの維持管理、花や実のなる植物の植栽、石や伐採材や剪定枝を積んだエコスタックの配置、巣箱やビオトープの設置や、間伐材は椅子に、伐採材や枯れ枝はチップ化して遊歩道材にするなど再利用もしています。

また、ウマノスズクサだけを食草とする珍しいジャコウアゲハが生息しており、繁殖地として保護エリアを設けています。

2017年から専門会社による定期的モニタリングを開始、植物286種、昆虫151種、鳥類23種が確認されています。

今後も緑地保全と調査等を継続し、更なる生物多様性推進活動と多摩川水域の環境保全に貢献できる様に取り組んでいきます。



伐採材や枯れ枝をチップ化して遊歩道材に再利用



### 第50回定期総会

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から書面による開催となり、各議案について、全会一致をもって可決されました。講演会及び懇親会については、残念ながら中止となりました。

### 6月30日(金) 川崎市環境功労者表彰式

**表彰事業所** 株式会社朝日プリンテック川崎工場

**部 門** 緑の保全及び緑化の推進

**場 所** 産業振興会館ホール



#### 事業所紹介

平成25年1月に、川崎市と「川崎市みどりの事業所の推進に関する協定」を締結し、現在も環境や景観などの向上を踏まえた緑化に努め、事業所緑地の25%を上回る緑地面積を保持し、地域の緑化普及に貢献されています。

接道部のソメイヨシノをはじめとして、敷地には約5,000本の樹木が植栽されており、公共のみどりに寄与しているとともに、社員の緑化意識の高揚と、環境や景観などの向上を踏まえた緑化に取り組んでおられます。

### 2月17日(金) 施設見学会

緑化に対する意識の高揚や緑化推進への動機付けを図ることを目的に、生物多様性に役立つ企業緑地の活用をテーマに、住友林業緑化株式会社のコーディネートにより、平成30年1月に「いきもの共生事業所」認証(ABINC認証)を取得した、当協議会会員事業所である花王株式会社川崎工場の現地視察を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会長、副会長、会計、会計監査の事業所担当者を対象に実施しました。

**訪問場所** 花王株式会社川崎工場 **参加者** 4事業所 5名



取組紹介や現地視察を踏まえ、各事業所から次のような意見等が出ました。

#### 取組紹介・緑地視察

- ・ABINC認証を取得している、また西緑地は、「自然の森」を感じてもらえる「社員の憩いの場」と川崎市臨海部に生息する「野鳥の場」となっている。
- ・緑地内では花や実の成る樹種採用や巣箱、エコスタックの設置など、動物の生息場所や移動経路となる仕掛けを設置している。
- ・物質循環の取り組みとして、伐採材や枯れ枝を利用したチップ材の遊歩道や雨水灌水を採用している。
- ・近隣企業や多摩川河川敷において、ジャコウアゲハの飛翔を確認したことをきっかけに、工場内緑地に「ウマノスズクサ管理エリア」を9か所設置。ジャコウアゲハの生息拠点としている。
- ・社員参加の取り組みとして、春は「チューリップ」秋は「イモ」など四季を感じながら楽しめる活動を敷地内の花壇で実施している。

#### 意見交換会

- ・樹木をただ植えるだけではなく、周辺の生物多様性との連携を考え、繋がる工夫をされていて驚いた。
- ・モニタリングによって樹種や昆虫を細かく把握している点に驚き、自社でもまとめたいと感じた。
- ・メーカーとして、生物多様性と品質保証のバランスをどのように取っているのか。
- ・地域の人や工場見学に訪れるお客様との交流があるため、緑を通じたプラスαの活動をしたいと考えている。社内外の人を巻き込む工夫があれば教えていただきたい。

## 幹事会の記録

### 第1回幹事会 令和4年6月29日(水)産業振興会館10階 第1会議室

- (1)令和4年度事業計画に基づく年間スケジュールについて
- (2)50周年記念事業について
- (3)(公財)かながわトラストみどり財団緑の募金への協力について
- (4) その他
  - ・緑のカーテンの取組について
  - ・市制100周年に向けた取組について

### 第2回幹事会 ①令和4年8月8日(月)、②令和4年8月9日(火)産業振興会館10階 第3会議室 ※Microsoft Teamsによるオンライン会議を同時開催

- (1)50周年記念事業(座談会)について

### 第3回幹事会 令和4年9月26日(月)川崎駅前タワー・リパーク17階 建設緑政局会議室

- (1)50周年記念事業の記念植樹について
- (2)記念式典時の座談会・懇親会について

### 第4回幹事会 令和5年1月20日(金)産業振興会館11F 第5会議室

- (1)50周年記念事業(記念誌)について
- (2)第51回定期総会について
- (3)施設見学(花王株式会社川崎工場)について
- (4)今後の事業計画(事業の進め方)について

### 第5回幹事会 令和5年3月24日(金)産業振興会館10F 第1会議室

- (1)記念誌(案)について
- (2)第51回定期総会について
- (3)議案書(案)について
- (4)令和5年度事業計画策定に向けたアンケートの調査結果について

## 50周年記念事業実行委員会の記録

### 第1回実行委員会 令和4年8月30日(火) 川崎駅前タワー・リパーク17階 建設緑政局会議室 ※Microsoft Teamsによるオンライン会議を同時開催

- (1)記念植樹について
- (2)座談会について

### 第2回実行委員会 令和4年10月26日(金) 川崎市役所建設緑政局会みどり・多摩川協働推進課 打ち合わせスペース ※Microsoft Teamsによるオンライン会議を同時開催

- (1)記念式典について
- (2)祝賀会について
- (3)記念品について
- (4)記念誌について
- (5)通知関係・その他

## 「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。

あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されておりま

す。現在、下表のとおり保全管理活動に関する協定等を締結し、年2～3回、竹伐採やササ刈りなどの保全管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。今後も実施箇所を増やしていきたいと考えておりますので、御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします!!

| 保全管理活動地区                    | 締結先企業等             |
|-----------------------------|--------------------|
| 栗木山王山特別緑地保全地区(麻生区栗木:2.0ha)  | 富士通株式会社川崎工場        |
| 久末東特別緑地保全地区(高津区久末:0.8ha)    | NECプラットフォームズ株式会社ほか |
| 王禅寺東特別緑地保全地区(麻生区王禅寺東:0.9ha) | 川崎信用金庫             |
| 岡上丸山特別緑地保全地区(麻生区岡上:1.3ha)   | 岡上小学校及び和光大学        |
| 久末イノ木特別緑地保全地区(高津区久末:0.9ha)  | 日本ロレアル株式会社         |



保全管理活動の様子

## 公共のみどり助成制度

公開性が高く、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定し、その維持管理・樹木の保存等に要する経費の一部を助成しています。(助成額:基本助成額(緑化面積に応じて2万円～5万円)+30円/㎡)です。御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお問い合わせください。

| 令和4年度公共のみどり事業所助成一覧             |
|--------------------------------|
| 三菱ふそう・トラックバス株式会社               |
| 花王株式会社川崎工場                     |
| 富士通株式会社川崎工場                    |
| 味の素株式会社川崎事業所                   |
| 株式会社富士通ゼネラル                    |
| ベトリファインテクノロジー株式会社              |
| エリーパワー株式会社川崎事業所                |
| 第一高周波工業株式会社京浜事業所・水江            |
| 株式会社朝日プリンテック川崎工場               |
| 【不動産信託受託者】三井住友信託銀行株式会社         |
| 株式会社東芝小向事業所                    |
| サントリーホールディングス株式会社サントリー商品開発センター |



公共のみどりの風景



## 川崎市緑化基金

川崎市内の「みどり」を守り・育て・増やし・活用していくために  
緑化基金への御協力をお願いします！

みなさまの御協力を  
お願いします。



### 緑化基金を活用した主な事業

都市緑化整備事業、緑化推進事業、緑のボランティアセンター運営事業、  
全国都市緑化フェア事業 など

### 基金への寄附と税の控除について(法人の場合)

確定申告によって、寄附された金額を法人税法(第37条)の規定により、損金参入することができます。

## 令和3年度事業所緑化データ

協定締結事業所 62事業所

緑化面積 148.4ha

緑化率 10.6%(昭和47年発足時3.6%)

#### 緑化率10%以上達成事業所

10%台 …… 21事業所  
20%台 …… 11事業所  
30%台 …… 4事業所



## 編 集 後 記

---

宅地開発に伴い、昭和30年代後半から緑地が減少する中で、工場の緑が地域緑化の推進に大きな役割を果たしている、川崎市域の特性を踏まえ、工場緑化の推進や保全を進めてきた当協議会は、令和4年で設立から50年となりました。半世紀の長きにわたり、活動が続けてこられましたのも、ひとえに川崎市をはじめ、会員事業所の皆様の御指導と御尽力の賜物と、深く感謝の意を表するとともに、喜びを分かち合いたいと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、協議会としての活動を縮小せざるを得ない状況の中で、記念式典を開催し、盛会のうちに無事終了できましたこと、また、記念誌作成にあたり、原稿作成や写真の提供に快く応じていただきましたこと、改めて感謝申し上げます。

記念誌の編集は、入稿期日との闘いであり、本当に間に合うのかどうか、焦りや不安の連続でしたが、事務局として、諸先輩方が築き上げてこられた50年の歴史に触れることができ、その時代その時代の社会状況を踏まえながら、柔軟に対応されてこられた諸先輩方の御苦勞や工夫を知る良い機会となりました。

令和6年の市制100周年には全国都市緑化かわさきフェアが開催されます。ポストコロナなども背景に、みどりの価値や魅力が再認識される中、開催される市民総参加型のかわさきフェアにおいて、当協議会といたしましても、各会員事業所のみどりの価値や魅力を発信できる良い機会であり、当協議会の今後の発展の契機になるものと考えております。

これまでの50年の歴史を踏まえ、このかわさきフェアを契機に、当協議会として今後どのように進んでいくのかは大きな課題ですが、会員事業所の皆様の英知をもってすれば、必ずや協議会の益々の発展につながっていくものと確信しております。

最後になりましたが、これまで50年の間、当協議会に携わり支えていただきました皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

令和5年4月 川崎市みどりの事業所推進協議会事務局

